

## シーカデュア®323H

エポキシ系 軽量樹脂モルタル

**概要** シーカデュア®323Hは、エポキシ樹脂と特殊軽量骨材を調合した無溶剤、2成分形の樹脂モルタルです。軽量のため、天井や壁面への厚付け施工が可能です。コンクリート構造物の欠損部補修、断面の修復などに優れた性能を発揮します。

**用途**

- ・劣化して欠損した部分や鉄筋露出部の断面修復
- ・壁面、天井面への厚付け補修
- ・コンクリート部材の隙間などへの充てん補修
- ・コンクリート構造物のジャンカなどの補修
- ・破損したコンクリート部材の縁取り、目地の縁取り、不陸調整

**特長**

- ・密度が0.85と非常に軽いいため、天井面や壁面への厚付けが可能です。
- ・施工性に優れているため、薄塗りから厚塗りまで可能です。
- ・低温下や高湿度下でも硬化します。
- ・凍結融解抵抗性をはじめとする耐久性に優れています。
- ・耐摩耗性、耐衝撃性に優れています。
- ・揮発性分を含まない無溶剤タイプです。

### 製品規格値

試験項目	試験方法	条件	規格値		
			標準形	遅延形	
密度	A B A + B	JIS K 6833	20	0.85 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>	0.85 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>
				0.85 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>	0.85 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>
				0.85 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>	0.85 ± 0.05 g/cm <sup>3</sup>
可使時間	温度上昇法	20 ・300g	50 ± 10分	60 ± 10分	
圧縮強さ	JIS K 6911	20 ・7日	30N/mm <sup>2</sup> 以上	30N/mm <sup>2</sup> 以上	
曲げ強さ	JIS K 6911	20 ・7日	15N/mm <sup>2</sup> 以上	15N/mm <sup>2</sup> 以上	
硬 度	JIS K 7215	20 ・7日	70HDD以上	70HDD以上	

Construction



技術資料

主成分	A成分(主剤) : エポキシ樹脂 B成分(硬化剤) : 変性脂肪族ポリアミン		
外観	A成分(主剤) : 白色モルタル状 B成分(硬化剤) : 黒色モルタル状 A + B混合物 : グレー色モルタル状		
混合比	A成分 : B成分 = 2 : 1(重量比)		
施工温度	標準形	5 ~ 30	
	遅延形	20 ~ 40	
可使時間	温度上昇法	標準形	遅延形
		30 20 10 5	17分 35分 80分 170分
保存期間	未開封で12カ月		
荷姿	12kg/箱(6kgセット×2)	A成分(主剤) : 4kg/缶 B成分(硬化剤) : 2kg/缶	
標準使用量	12kg/箱あたりの施工面積 : 約1.4m <sup>2</sup> (塗り厚10mm) 12kg/箱あたりの体積 : 約14リットル		
性状・性能			
	条件	標準形	遅延形
密度( g/cm <sup>3</sup> ) 混合物	20	0.85 ± 0.05	0.85 ± 0.05
圧縮強さ( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 6911	20・7日	37	40
圧縮弾性係数( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 6911	20・7日	約2 × 10 <sup>3</sup>	約2 × 10 <sup>3</sup>
曲げ強さ( N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 6911	20・7日	18	18
曲げ接着強さ( N/mm <sup>2</sup> ) JIS A 6024 4 × 4 × 8cm試験片2体を 接着後に曲げ試験	20・7日	8.4 (モルタル材破断)	8.1 (モルタル材破断)
接着強さ( N/mm <sup>2</sup> ) 建研式引張試験 コンクリート平板にプライマー (シーカデュア®32)塗布後、 アタッチメントを貼付け、引張 試験	20・7日	3.2 (コンクリート破断)	3.2 (コンクリート破断)
熱膨張係数 JIS K 6911	20 ~ 60	約7 × 10 <sup>-5</sup>	約7 × 10 <sup>-5</sup>
硬度( HDD ) JIS K 7215	20・7日	75	75

施工方法	
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工面に汚れ、レイトンス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。</li> <li>・ジャンカやコンクリートの脆弱な部分を除去して下さい。</li> </ul>
プライマー混合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライマーは、シーカデュア®32を使用して下さい。</li> <li>・A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー( max500rpm程度の低速タイプ)を使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。</li> <li>・使用量が比較的少ない場合は、A成分、B成分を2:1(重量比)の比率で計量した後、混合して下さい。</li> </ul> <p>( 詳細はシーカデュア®32のプロダクトデータシートをご参照下さい。 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度に混合する量は、可使時間内に使いきれぬ量にして下さい。</li> </ul>
プライマー塗布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハケ、ローラーなどを使用してシーカデュア®32を塗布して下さい。塗布量は0.3～0.5kg/m<sup>2</sup>程度です。</li> <li>・プライマー塗布後、接着可能時間内にシーカデュア®323Hを施工して下さい。接着可能時間の目安は、夏期 - 2時間以内 冬期 - 4時間以内 春秋期 - 3時間以内程度ですが、詳細はシーカデュア®32のプロダクトデータシートをご参照下さい。</li> </ul>
混合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパネなど( 約1m角の板 )の上に、A成分、B成分それぞれ全量を出して下さい。</li> <li>・ゴム手袋を着用し、均一なグレー色になるまで両手で十分に混合して下さい。コンパネに未混合の材料が付着することがあるので、幅広の金ベラなどですき取りながら混合して下さい。</li> </ul>
施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工面にプライマーが塗布されていることを確認した後、混合したシーカデュア®323Hを施工面に手で押付けて均して下さい。</li> <li>・表面を手である程度均した後、コテで仕上げして下さい。</li> <li>・コテの表面に溶剤( ラッカーシンナー )を多少付けて均すことで、平滑に仕上げることができます。</li> <li>・二層以上の重塗りをする場合は、一層目が硬化した後に再度シーカデュア®32を塗布してから施工して下さい。</li> <li>・溶剤( ラッカーシンナー )を用いて仕上げを行う場合には、シーカデュア®323Hに直接溶剤を塗布しないようにして下さい。</li> <li>・溶剤には、ラッカーシンナー以外は使用しないで下さい。</li> <li>・厚付け施工の場合は、衝撃等による落下防止措置としてラス張りやアンカー固定などの適切な措置を行って下さい。</li> </ul>
養生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工後24時間以上の養生が必要です。養生期間中は衝撃や振動を与えないように注意して下さい。なお養生温度が低い場合( 5 程度 )には、3日間程度の養生日数を確保して下さい。</li> </ul>
洗浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工後、使用した工具は、硬化する前にラッカーシンナーで洗浄して下さい。( 洗浄中、溶剤の蒸気を吸引しないように注意して下さい。 )</li> </ul>
重要事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高温時は、可使時間が短くなります。夏期に施工する場合は、材料温度が上昇しないように、室内の冷暗所に置くなどの処置を行って下さい。40 以上で施工する時は、当社にご相談下さい。</li> <li>・低温時は、材料の粘度が上昇し作業性が低下するとともに、硬化が遅れます。原則として5 以上の環境で使用して下さい。</li> </ul>

## 注意

## 取扱い

A成分：刺激性の成分としてエポキシ樹脂を含み、長時間あるいは繰返しの接触により皮膚刺激を起こすことがあります。また、目を刺激することがあります。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。皮膚との接触を避け、適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

B成分：刺激性の成分としてアミンを含んでいます。目あるいは皮膚を刺激します。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。B成分の付着した衣類は着替えて下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

詳しい安全性は製品安全データシートを参照して下さい。

## 救急法

皮膚に付着した場合はすぐに拭取り、石鹼を使用し、水で十分に洗って下さい。痛みや外観に変化がある場合には、速やかに医師の診断を受けて下さい。目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、必要に応じて医師の処置を受けて下さい。蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

## 保管

A成分：火気、湿気、水を避け、室内の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。  
B成分：A成分と同様に保管して下さい。保管中に多少の分離を生じる事がありますが、その場合には使用前によく攪拌して使用して下さい。

## 廃棄

使用後の材料・容器は、A成分とB成分を混合し硬化を確認した後、法規に従って廃棄して下さい。

消防法による  
危険物分類

該当なし

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、接着面および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものではありません。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクト・データ・シートの最新版に留意してください。プロダクト・データ・シートの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。



日本シーカ株式会社  
第1事業本部 リペア&プロテクション チーム  
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1  
TEL 0463-23-1301 FAX 0463-21-1316  
<http://www.sika-japan.co.jp/>



日本シーカ株式会社は平塚・小野工場において1993年にISO9001、1998年にISO14001の認証を取得いたしました。